



旭市

第52号
2019年1月15日

社協だより

編集発行
社会福祉法人
旭市社会福祉協議会
旭市横根3520番地
TEL.0479(57)5577
FAX.0479(57)2836
URL www.asahi-shakyo.jp
e-mail: asahi-shakyo@cpost.plala.or.jp



デイサービスに華やかなお客さま 12月7日(金)

衣智恵会の皆さんがデイサービスに元気を届けてくれました。年に1度の訪問ですが、利用者さんが口ずさめる曲での踊りは、やっぱり盛り上がります!

最後は毎年恒例の「好きになった人」を、みんなで歌って踊ってお別れでしたが、紙テープで別れを演出することで、利用者の皆さんは歌いながら、身体も動かすことができました。

皆さん生き生きとした表情で、楽しい時間を過ごすことができました。



謹んで年頭のご挨拶を申し上げます



社会福祉法人 旭市社会福祉協議会
会長 埴 政美



市民の皆様にはさすがしく新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

日頃より、社会福祉協議会の各種事業に対しまして、温かいご支援とご協力を賜り、役員一同、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は、7月の西日本豪雨災害、9月には大型で非常に強い台風の襲来や北海道胆振東部地震など、各地に大きな被害が発生しました。本市でも東日本大震災によって甚大な被害がありましたが、災害時においては、平時に増

して、地域のつながりや共に支え合い、助け合うことが大きな力となりました。

今年は改元を控えており、役員並びに職員一同が気持ちを新たに、なお一層努力し、住み慣れたまちで安心して暮らせる地域社会づくりを目指します。

結びに、皆様にとって健やかで幸多き年でありますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

秋はイベントが盛りだくさん! おたっしゃ会 10月30日(火)

一人暮らしの高齢者(70歳以上)を対象に「おたっしゃ会」を開催しました。

当日は117名の皆さんが出席され、園児のお遊戯や舞踊の鑑賞をしながら、会食を楽しみました。明智忠直市長や島田和雄議長からは、参加者の皆さんに向けて、温かいメッセージを頂きました。



ボランティア
連絡協議会の
「花寿澄舟会」
の皆さんです。



皆さん会食を楽しんでいました!



園児たちからは
手作りのプレゼントを
頂きました!

今回も恒例の大漁節をみんなで踊り、無事におひらきとなりました。「来年また来るから!」と元気に帰っていく姿が印象的でした。



まんざい保育所の園児の皆さんと先生方。上手に踊れてみんなひと安心!

11月6日(火)

金婚式をお祝いました!

結婚50周年おめでとうございます!

昭和43年9月1日から昭和44年8月31日までに婚姻された方を対象に旭市合同金婚式が開催されました。今年度は66組の申し込みがあり、当日は59組のご夫婦が式典に出席されました。

祝宴では舞踊やお囃子が披露され、獅子舞や神輿も登場し宴席を楽しませてくれました。50年もの長い結婚生活をお互い改めて労えたようで、皆さんの素敵な笑顔が印象的でした。

**産業まつり**

11月11日(日)

赤い羽根共同募金の募金活動の一環として、産業まつりに参加しました。恒例の「おかしなすくい取り」は、毎年子供たちに大人気のイベントです。お菓子をお玉ですくい上げるのは、小さな子供にはちょっと難しいかもしれませんが、そこはサービス満点!?みんな上手にすくってくれました。気が付けばあっという間に品切れ状態で大盛況のうちに終わることが出来ました。

また、おかげさまで「赤い羽根共同募金」も大勢の皆さまにご協力いただき、34,695円の募金が集まりました。皆さまのご協力に感謝いたします。

**障がい者交流事業 11月12日(月)**

旭市の障がいをもつ仲間との出会いと交流の機会を設け、仲間づくりを推進するとともに閉じこもりを防止する目的で、毎年交流事業を開催しています。

今年度は、成田市にある「ANAクラウンプラザホテル成田」へお邪魔をして、施設見学及びランチバイキングをみんなで堪能しました。

【参加団体】

- ・旭市身体障害者福祉会
- ・旭市視覚障害者福祉会
- ・NPO旭市手をつなぐ育成会
- ・手をつなぐ親の会
- ・精神障害者家族会あさひ



第14回

社会福祉大会 11月24日(土)

東総文化会館大ホールにて、第14回旭市社会福祉大会を開催しました。当日は、地域福祉活動に貢献された方々へ、市長及び社会福祉協議会長から感謝状や表彰状が贈呈されました。また、市内小中学生の福祉作文の入賞者の表彰、最優秀作品の発表を行いました。

今回はテレビでもお馴染みの菊田あや子さんにお越しいただき、記念講演を行いました。「認知症も怖くない・グルメリポーターの役にたつ食の話とカンタン健康法」と題しまして、ご自身の体験談を含め、楽しいお話をたっぷり聞かせて下さいました。終始笑顔で元気いっばいの菊田さんに、会場の皆さんもたくさんのパワーを頂けたと思います。

今回受賞された方々は次の通りです。

市長感謝状

(敬称略)

No.	氏名	代表者
1	NEXUS(株)D'ステーション旭店	星野 敏
2	あさひ舞踊会	花園千名美
3	飯岡ライオンズクラブ	向後久雄

開会宣言を行う
平澤副会長市長感謝状を受け取る
あさひ舞踊会さま市長感謝状を受け取る
飯岡ライオンズクラブさま

会長表彰

役員功労

No.	氏名
1	石本満喜子

ボランティア功労

No.	氏名	No.	氏名
1	高橋松江	4	宮賀喜美子
2	岩井昭雄	5	石丸ちよ子
3	齋藤 宏		



役員功労を受賞された石本さま

篤志寄付功労を受賞された石毛さま

篤志寄付功労

No.	氏名	代表者
1	石毛恒男	
2	薄田 豊	
3	(株)ステップ	今関 慎治
4	旭市文化協会美術部	加瀬小夜子
5	自衛隊家族会旭海上支部	
6	歌謡旭クラブ	山中昭清

ボランティア功労を
受賞された高橋さま篤志寄付功労感謝状を受賞され
た琴伝流大正琴すばる会さま

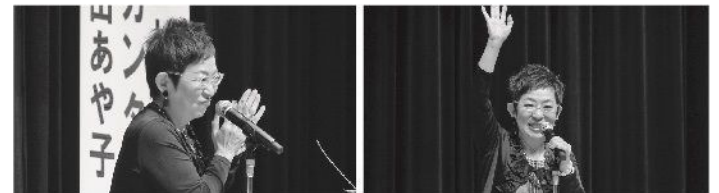
会長感謝状

篤志寄付功労

No.	氏名	代表者
1	日華化学株式会社	江守 康昌
2	日蓮宗千葉県東部宗務所	富永 観 瑞
3	合同歌謡会	在田 栄 治
4	銚子商工信用組合信友会	伊藤 裕 美
5	認定NPO法人 日本車椅子レクダンス協会 千葉東総支部	加瀬 佑 子
6	旭市文化協会芸能部	篠塚 益 治
7	琴伝流大正琴すばる会	堀川 咲 子
8	飯岡舞踊会	佐久間智恵乃



受賞者の方々です



講演を行う菊田あや子さん



大会宣言を読み上げる宮原副会長

菊田さんの質問に答えようと会場の皆さんも
積極的に参加されていました

社会福祉作文入賞者

小学生の部

No.	表彰区分	氏名	学校名
1	最優秀	英 桃子	旭市立干潟小学校 6年
2	優 秀	高品 咲天	旭市立干潟小学校 5年
3		菅谷 四季	旭市立富浦小学校 6年
4		伊藤 日葵	旭市立豊畑小学校 5年
5		井上 夢菜	旭市立豊畑小学校 6年
6		永井 漣	旭市立飯岡小学校 6年
7		熱田 真央	旭市立中和小学校 5年
8	佳 作	猿田 あや	旭市立琴田小学校 6年
9		青柳 颯空	旭市立共和小学校 6年
10		桑田 舜也	旭市立共和小学校 6年
11		遠藤 真夕	旭市立滝郷小学校 5年
12		齋藤 結輝	旭市立嚶鳴小学校 6年
13		平野 千琴	旭市立飯岡小学校 6年

中学生の部

No.	表彰区分	氏名	学校名
1	最優秀	内山 詩	旭市立第一中学校 1年
2	優 秀	涉里 萌衣	旭市立第一中学校 2年
3		庄司 明莉	旭市立第二中学校 2年
4		佐藤 桜花	旭市立第二中学校 2年
5		浪川 日向子	旭市立海上中学校 1年
6	佳 作	岩田 壘	旭市立第二中学校 1年
7		飯田愛香李	旭市立海上中学校 2年
8		渡邊 雄哉	旭市立飯岡中学校 1年
9		近藤 柊哉	旭市立飯岡中学校 2年

【訂正とお詫び】

社会福祉大会当日に配布いたしました資料に誤りがございました。
篤志寄付功労の石毛恒雄さんですが正しくは石毛恒男さん(前海上郵便局長)
の間違いでした。訂正してお詫びいたします。

福祉作文を紹介します



小学生の部 《最優秀》

みんながキラキラするために

旭市立干潟小学校 第6学年
はなぶさ ももこ
英 桃子 さん

作文の発表をする旭市立干潟小学校6年 英桃子さん

みなさんは、障がいを持っている人のことをどのように思いますか。私は、父からある障がいをもつ方の話を聞いて、人はみんな輝いて生きることができるんだと思いました。

父は、福祉の仕事をしています。なぜ、福祉の仕事に興味を持ったのか父に質問してみました。私の父は、高校生の時に知り合いから、特別支援学校で行われる運動会のボランティアにさそわれたそうです。その時父は、障がいを持つ人は、自分ではほとんど身の回りのことができないイメージを持っていました。そのため、ボランティアの仕事は、できない人のかわりに入れてあげることだと思っていたそうです。しかし、特別支援学校の運動会の日、父は、自分でできることを一生懸命やっている子供たちを見ました。障がいを持っている子供たちが、自分のできることを全部本気でやっていて、とてもキラキラして見えたそうです。父は、その姿を見て、「この子供たちには、かなわない、自分はこの子供たちに負けている」と強く感じました。父は、この経験をきっかけに、障がいを持つ子供たちや、福祉にかかわる仕事に就きたいと思いはじめたそうです。私も、障がいを持っている人たちは、できないことがたくさんあるとばかり思っていました。しかし、父の話をきいて、障がいを持っていても、できることはたくさんあることに気がつきました。

父は、社会人になり、初めは、大人の障がい者への介護の仕事に就きました。その時は、障がいを持っている人は、「社会的弱者」であり、人の手を借りなければ生きていけないと思っていたそうです。今は、福祉の総合相談の仕事に変わり、その考えが変化してきたそうです。それは、知的障がいのある方が、父が仕事として行っている『子ども食堂』のボランティアをやりたいと希望された時のことです。その時父は、この方にほとんどできることはないだろうなと思ながらも、本人の思いにこたえ、受け入れてみることにしました。

いざ、子ども食堂が始まってみると、知的障がいのボランティアさんは、けんかをしている子供たちを上手に仲裁していたり、子供たちと楽しく遊んだり、正しい食器の持ち方を教えていたりしていたそうです。今では、子供たちに大人気で、子ども食堂になくはならない存在になっています。この知的障がいを持つボランティアさんは、父が支援をしている方ですが、子ども食堂ボランティアという役割をとおして、今度は逆に子ども食堂に来る子供たちを支援する側が変わっていました。そのことに気づいた時、私はとてもびっくりしました。私自身も、家では、父と母に守られ育っていますが、学校では、私より年下の学年の子供たちのお世話をしています。私も、誰かに助けられながら誰かを助けているのです。色々な場面や役割によって支援する側と支援される側は入れ替わることがわかりました。また、障がいを持つ人や弱い人は、助けてもらうだけではないこともわかりました。人は、誰かとかかわり合いながら生きています。そして、障がいがあってもなくても誰かを助けたり、助けられたりしながら共に生きることが、人をキラキラさせるのだと思いました。人はみんなキラキラすることができるのです。障がいをもつ人も、私自身も、もっとキラキラな自分を見つけていける社会にしていきたいなと思います。



受賞された小学生の皆さんです



中学生の部 《最優秀》

未来の福祉に願いをのせて

旭市立第一中学校 第1学年
うちやまうた
内山 詩 さん

作文発表をする旭市立第一中学校1年 内山詩さん

「福祉」という言葉を辞書で調べてみると、「しあわせ」や『ゆたかさ』を意味する言葉であり、「すべての市民に最低限の幸福と社会的援助を提供するという理念を示す。」と、書いてありました。私は、福祉という言葉から、年をとったり身体が不自由になったりした時、生活に困らないよう十分に援助してもらうことをイメージしていました。

しかし、私がこの夏に感じた福祉、それは私がイメージしていた「福祉」とはちがう複雑なものでした。

小さいころから「おじいちゃん」と呼び、時々遊びに行くとお小遣いをもらったりアイスを食べさせてもらったりした人、その人は、私の祖父のお兄さんにあたり、普段は一人暮らしです。去年の夏、体調を崩し、入院生活を送っていたのですが、退院後は一人で暮らすのが難しいので施設に入ることになりました。おじいちゃんは入院前はとても元気でしたが、入院中に足の筋力が弱くなってしまいました。それでもリハビリをしてしっかり歩けるようになったら退院できると頑張っていました。しかし、実際は独居老人のため、調子が良くなっても家族がそばにいないのは危ない事ばかりで、なかなか施設を出ることはできなかったのです。離れて暮らす家族も、一緒にいてあげたくても出来ない事が多く、介護のため休日を使って帰ってくる生活で、とても大変そうでした。こうした状況が一年続き、おじいちゃんは身体も心もとても弱ってしまいました。一時期は一人で歩けるまで回復していたのに、今は車いす生活です。九十歳という年齢もあり身体機能の衰えていくスピードがとても速く、それと同時に気持ちもだんだん弱くなっていきました。「寂しい」と体を小さくしてつぶやいているおじいちゃんの姿を見て、私は辛くなりました。家族と一緒にいたいし、自宅で暮らしたい。それがおじいちゃんの願いです。でもそれぞれの事情があり、おじいちゃんの願いは今は叶いません。してあげられない家族の辛さや寂しい思いは現実に起きている介護の実態だろうと思います。

家族だから我慢や苦労は仕方のない事なのでしょ

うか。これでは、幸せを感じる福祉ではないと私は思うのです。理想とは違う現実は知れば知るほど複雑で難しく思いました。施設に入り、一般的には十分なサービスを受けることが出来たとしても、介護される本人の気持ちが満たされなければ、それは問題なのだと思います。また最低限の社会的援助では、これもまた問題なのではないかと思います。自分が福祉を受ける立場であれば安心して十分な介護を受けたいと思うからです。これから私たちが担っていく社会の中で「福祉」が充実したものになるよう強く願わずにはいられませんでした。

今、私に出来ることは、おじいちゃんに寄り添い、気持ちを和らげてあげることです。会いたい時は会いに行き、出来ることはしてあげたいと思います。「寂しい」と涙を流している姿を見たくないの、少しでも明るい気持ちになれるようにしてあげたいと思います。

高齢になった親を支え、面倒を見たいという思いは家族ならば「当たり前」の願いです。その願いが実現できるように、家族や身内の者が十分な介護のできる環境や介護される人が精神的に安定し、安心して過ごせる環境を整えていくことが必要なのではないでしょうか。

これから日本は本格的な高齢化社会を迎えます。みんなが介護し介護される側に必ずなります。幸せを感じられる介護に必要なものは何か、私達一人一人が真剣に考えていかなければならないことをこの経験を通して私は強く感じました。



受賞された中学生の皆さんです

傾聴ボランティア募集

本会では、みなさんのお話しに耳を傾ける「お話し相手ボランティア」を募集しています。一緒にお話しすることで、1人でも多くの方に心安らぐ時間を過ごしてもらうことを目的に活動していただきます。



都合の良い時間に2人1組で利用者のお宅に伺い、30分から1時間程度、お話し相手をしてくるボランティアです。ご興味のある方は一度本会までお問合せください。 **問合せ先 ☎57-3133 (直通)**

傾聴って…?

「こちらの聞きたいこと」を聞く(Hear)のではなく、「相手の言いたいこと、伝えたいこと、願っていること」を受容的、共感的態度で「聴く」(Listen)ことであり、相手が自分自身の考えを整理し、納得のいく結論や判断に達するよう支援することです。うなずく、相づちを打つ、笑顔を見せることで相手の心を癒し、不安や孤独感が軽減することで安心感につながります。

● 社協では皆さんの困りごとに対応するため各種の相談事業を行っています! ●

高齢者の相談窓口 (海上地区と飯岡地区を担当)

旭市東部地域包括支援センター (旭市委託事業)

相談費
無料

地域包括支援センターは、総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防ケアマネジメントといった4つの機能を担い、高齢者が地域で安心して暮らせるよう、高齢者とその家族の生活をサポートします。

あなたの近くに
こんな方いませんか?

- すごく痩せてきちゃったけど、ちゃんとお飯食べてるのかな…
- なんて腕や足にアザが出来てるのかな…家族いるのかな…
- なんか臭うな…ちゃんとお風呂入っているのかな…
- 会うたびに同じことばかり言ってるな…おかしいな… などなど

高齢になると、自分自身では気が付かないことも多く、困っていてもどこに相談していいのかわからない方が大勢います。皆さんのちょっとした心配やおせっかいで、困っている高齢者を助けることができるかもしれません。

問合せ先 ☎74-3433 (直通)

生活、仕事に困っている方 気軽にご相談ください!!

生活困窮者自立支援事業 (旭市委託事業)

相談費
無料

生活に困窮している人が生活保護に陥らないよう、その前の段階でできるだけ早く自立できるよう専門性を有する支援員が相談に応じ、支援へとつなげていきます。

相談できる方

- 生活保護を受けていない方で生活に困っていて最低限度の生活を維持できないおそれのある方
- 経済的な問題で生活に困っている方
- 長く失業して困っている方 ■ 引きこもりがちな方
- ニートで悩んでいる方 ■ 働いた経験がなく不安な方など



問合せ先 ☎57-3133 (直通)

生活費のやりくりが出来ずに困っている方いませんか?

日常生活自立支援事業 (千葉県委託事業)

相談費
無料

定期的な訪問により、福祉サービスを利用するお手伝いや、日常的な金銭管理をお手伝いします。高齢者や障害者の方々が、安心して笑顔で自立した地域生活が送れるよう支援する事業です。

このようなことで
困っていませんか?

- 福祉サービスの利用の仕方がわからない
- 市役所から届く書類をどうしたらいいのかわからない
- 公共料金や医療費の支払い、銀行などでの払戻しがうまくできない
- 通帳やはんこ、大切な書類をなくしてしまう

問合せ先 ☎57-5577



お知らせ

社会福祉協議会の職員を募集します!

私たちと一緒に
働いて
みませんか?

職 種	募集人数	応募資格	応募期限	身 分	採用予定日
介護支援専門員 ※土曜日勤務可能な方	若干名	介護支援専門員 実務研修の修了者 (県へ登録されている方)	随 時	正規職員	随 時

応募要件 / 介護支援員資格・普通運転免許取得
提出書類 / 履歴書(写真添付)・資格証の写し

【申込み先】

〒289-2712 旭市横根3520番地(飯岡福祉センター内)
社会福祉法人 旭市社会福祉協議会 ☎57-5577

※待遇等詳しくはお問い合わせください。

平成30年度千葉県地域福祉 フォーラムシンポジウムのお知らせ

災害に備えた私たちの取り組みをテーマに、平常時から行っている地域の取り組みの延長線上にある災害時の取り組みを中心にこれからの地域づくりを考えることを目的として本シンポジウムを開催します。

◆テーマ「災害に備えた地域づくりを考えてみよう」

◆基調講演「災害に備えた地域づくりを進めるために」

国際医療福祉大学医療福祉学部 教授 小林 雅彦 氏

◆シンポジウム「災害に備えた私たちの取組み」

コーディネーター:国際医療福祉大学医療福祉学部 教授 小林 雅彦 氏

平成31年2月17日(日)12時40分~16時 千葉市生涯学習センター 2階ホール
定員:300名(申込先着順) 参加費:無料 締め切り:平成31年2月8日(金)
申込:申込書をFAXかHP内申込フォームから申込(定員を超えた場合のみ
連絡します)

申込書は各市町村社会福祉協議会、各市町村行政等で配布しています。
千葉県社会福祉協議会のHPからもダウンロードできます。

【申込・問い合わせ先】

〒260-8508 千葉市中央区千葉港4-3 千葉県社会福祉協議会
TEL:043(245)1102 FAX:043(244)5201 HP <http://www.chibakenshakyo.com/>



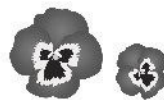
*皆さまの温かい寄付

ありがとうございました*

10月から12月末までに、大勢の方々から社会福祉協議会へ寄付をいただきました。皆さまの気持ちを大切に活用させていただきます。(敬省略・順不同)

- 宮カラオケ友の会 ●飯岡舞踊会 ●(株)ステップ
- マミー商会 ●手編み講座 ●歌謡旭クラブ
- アメリカンフラワー ●海上歌謡虹の会
- 赤十字防災ボランティア ●秀花歌謡教室
- 日華化学(株)関東工場 ●あさひ舞踊会
- 銚子商工信用組合信友会 ●薄田 豊
- 平野尚子 ●平野実(車椅子) ●木内 紀雄(石鹸)

飯岡福祉センターの花壇に きれいなお花が並びました。



パンジーやピオラの花が、寒さに負けずかわいらしく咲いています。このお花は市内に住む石毛光男さんが寄付してくださりました。ありがとうございました。



【訂正とお詫び】

平成30年10月25日発行の本誌第51号に掲載しました賛助会費ご協力者のお名前に誤りがございました。正しくは、伊東八重子様、佐藤清和様、穴澤隆晃様です。訂正してお詫びいたします。

社会福祉協議会のイベントや最新情報はホームページで確認できます。是非ご利用ください!

心配ごと相談所のご案内

本会では、心配ごと相談所を開催しています。市内に住む有識者の相談員が皆さまの問題解決に向け、関係機関への斡旋や助言を行います。心配ごとや悩みごとがあると、笑顔で生活するのは難しいですよね。誰かに話を聞いてもらうだけでも、少しでも気持ちが楽になれるかもしれません。相談料は無料で秘密は守られます。なお、お待たせすることが無いよう、お電話での予約をお願いします。☎57-3133(直通)



場 所	期 日	時 間
飯 岡 福 祉 セ ン タ ー	第 1・3 水 曜 日	午後1時30分~午後3時30分
旭 市 青 年 の 家 2 階	第 2・4 水 曜 日	午前10時~12時 午後1時~午後3時

※月に4回、水曜日に開催します。ただし、水曜日が祝日の場合は翌日となります。※12月25日から1月7日は休所となります。